



東京医科歯科大学医学部附属病院の理念と基本方針

- 理念：安全良質な高度・先進医療を提供しつづける、社会に開かれた病院
- 目標：1. 患者中心の良質な全人的医療の提供
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 高度先進医療の開発と実践
4. 国民のニーズに応える開かれた病院

医療連携支援センター (地域連携室) TEL: 03-5803-4655
FAX: 03-5803-0119
予約専用FAX: 03-5803-0285



財団法人日本医療評価機構 認定病院

医療連携だより



東京医科歯科大学
医学部附属病院
医療連携支援センター長
(病院長補佐)
泉山 肇 (いずみやま はじめ)

新年を迎え、皆様には益々ご清祥のことと心よりお喜び申し上げます。
また、日頃より当院との医療連携に格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨年早々よりはじまった未曾有のCOVID-19拡大により医療を取り巻く環境が極めて厳しい状況となっております。当院は、当初よりCOVID-19対策に力を注いでまいりましたが、当院の理念である「安全良質な高度・先進医療を提供しつづける、社会に開かれた病院」としての使命もCOVID-19対応と同様に大切と考えております。COVID-19対応病床の確保に伴い、限られた一般病床を効率良く運用するためには、在院日数の短縮が必要不可欠となるため、在宅復帰できる患者さんは可能な限り短期間で紹介元医療機関に逆紹介できる、あるいは転院が必要な患者さんはできるだけ早期に転院先医療機関を決定できる運用が必要となります。まさに、医療機関の機能分化に応じた取り組みが重要となります。もっとも大切なことは、この様な退院支援の取り組みが患者さんにとって望ましい形で結実することであり、そのためには皆様とのこれまで以上のシームレスな医療連携が必要不可欠と考えております。
当院では感染制御部、新型コロナウイルス対策室、コロナ外来診療センターを中心に患者動線等を随時検討し、ご紹介頂いた患者さんが安心して外来受診あるいは入院加療ができるよう万全の体制を整えております。
この厳しい難局を皆様と共に乗り越えられるよう尽力したいと考えておりますので、これまで以上のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



医療連携支援センターの役割

- 紹介患者さんのスムーズな受け入れ
- 医療機関からの初診事前予約受付
- 入院・退院患者さんとそのご家族のサポート
- その他の医療・福祉相談



TOPICS

- 医療連携支援センター長の挨拶
- 心臓血管外科のご紹介
- 低侵襲医療センターのご紹介
- 肝胆膵外科のご紹介
- 上部消化管内視鏡検査のご案内
- 入院支援室がリニューアルオープン
- 認定看護師のご紹介
- 「第2回 集中ケア認定看護師」
- 地域連携室新任スタッフのご紹介

新任スタッフ

梶野 公代 (かじの きみよ)


- 地域連携室

業務内容を早く身につけ、迅速かつ丁寧なご案内ができるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします

新型コロナウイルス感染症対策基金にご協力ください
<http://www.tmd.ac.jp/medhospital/covid-19/contribution/>

東京医科歯科大学は2つの基本理念で、新型コロナウイルス感染症に正面から取り組んでいます。

- 東京医科歯科大学では「医学部附属病院における新型コロナウイルス感染重症・中等症陽性患者の受入体制の構築」を、最優先事項に位置付け、全学的な支援を行っております。
- ポスト新型コロナウイルス感染症の社会に備えた医療体制を整えます。ご理解、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



メールマガジンにご登録ください!

医療連携支援センターでは、メールマガジンを発行しております。
配信をご希望される場合は、地域連携室へお電話をお願いいたします。

TEL: 03-5803-4655




医療機関からの初診事前予約について お問い合わせ先 03-5803-4655 (地域連携室)

*土日祝祭日・年末年始(12月29日～1月3日)、および受診日当日の予約は受け付けておりません。また、翌日分の予約は14時までとなっております。
*時間外・休日などの申込み分は翌診療日にご連絡させていただきます。(FAX受信は24時間可能)

FAX 予約の場合

FAX: 03-5803-0285 (受付時間 8:30 ~ 16:00)


上記番号に、紹介状・申込書を送信してください。
速やかに当院よりFAXで「外来診療予約票」を返信します。



電話予約の場合

TEL: 03-5803-4655 (受付時間 8:30 ~ 16:00)

上記番号に、電話をおかけください。
その際に患者さんの氏名・生年月日・希望診療科名・予約希望日をお知らせください。



カルテ閲覧のご案内

当院と連携協定を結んでいる医療機関様に限り
地域連携システムを利用して、当院カルテの閲覧が可能になります

要件

1. インターネットに接続できる環境があること。また、PCの設置場所は施錠できる環境にあること。
2. Microsoft社のサポート期間内のOSにて動作するパソコンを使用すること。
3. Microsoft社のサポート期間内のInternet Explorerを使用すること。
4. 有償のウイルス対策ソフトを実施し、Winnyなどのファイル共有ソフトを削除すること。
5. PDFファイルの閲覧にはAdobe社のサポート期間内のPDF閲覧ソフトを使用すること。

★これらの要件を満たしていれば、申込みいただけます!

1. 申請書の提出。
2. 提出いただいたのち、接続させていただけるか検討いたします。
3. 決定後、順次連携医療機関様へ伺って、接続を行います。

※申込み多数の場合は、利用するまでにお時間がかかる場合がございます。

連携協定及びカルテ閲覧の申込み 医療連携支援センター 03-5803-4391

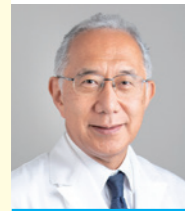
診療科のご紹介

心臓血管外科

虚血性心疾患・心臓弁膜症・大血管疾患・先天性心疾患・重症心不全に対する外科治療

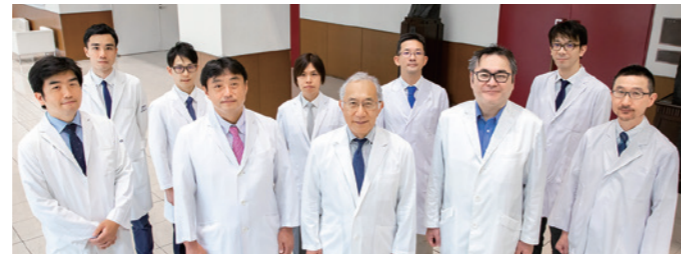
重症・緊急に関わらず、随時手術を受け入れ

当科では一般の病院で治療が困難な複合疾患を合併した重症例こそ、大学病院が担うべき外科医療と考え、no refusal policyで重症・緊急に関わらず、随時手術を受け入れております。長期遠隔予後に優れたQuality of lifeの高い手術にこだわり、精度の高い最新の心臓大血管手術を、より安全かつ低侵襲に行うための新しい術式やデバイスの開発を行っております。



科長/教授 荒井 裕国 Arai Hirokuni

心臓血管外科専門医、心臓血管外科修練指導医、外科専門医、日本外科学会認定医、日本外科学会指導医、日本胸病外科学会認定医、日本胸病外科学会指導医、植込型補助人工心臓実施医



冠動脈バイパス術では、95%以上で人工心臓を用いないオフポンプバイパス術を施行(軽快退院率99.5%以上)し、弁膜症では、年々増加する僧帽弁形成術の完遂率がほぼ100%に達しています。心移植を目的とした植込型補助人工心臓手術や胸部・腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療も行っています。適応が可能な症例には低侵襲心臓手術も行います。

低侵襲医療センター

結腸癌、直腸癌、胃癌、食道癌、膵癌、前立腺癌、膀胱癌、子宮体癌、子宮筋腫、子宮筋腫、肺癌、縦郭腫瘍



ロボット支援下手術の安全を確保

低侵襲医療センターは、1)革新的な低侵襲手術の開発や研究をすること、2)患者さんに安全・安心な手術の提供をするために院内のトレーニングセミナーや内視鏡治療における医療安全の広報活動を行う、などを目標に設立されました。またロボット支援下手術施行医に対して院内技術認定制度を導入し、ロボット支援下手術の安全を確保しています。現在、結腸癌、直腸癌(大腸肛門外科)、胃癌(胃外科)、食道癌(食道外科)、膵癌(肝胆膵外科)、前立腺癌、膀胱癌(泌尿器科)、子宮体癌、子宮筋腫、子宮筋腫(周産・女性診療科)、肺癌、縦郭腫瘍(呼吸器外科)に対してロボット支援下手術を実施しております。



センター長/教授 絹笠 祐介 Yusuke Kinugasa

日本外科学会 専門医、指導医、日本消化器外科学会 専門医、指導医、評議員、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、暫定教育医、JCOG 大腸がんグループ 運営委員会メンバー、大腸癌研究会 施設代表者、世話人、ガイドライン委員 日本内視鏡外科学会 評議員、技術認定医、日本大腸肛門学会 専門医、指導医、評議員、日本臨床外科学会 評議員、日本ロボット外科学会 理事、評議員、Robo-Doc Pilot国際A級、Mentor for da Vinci Robotic-Assisted Surgery



肝胆膵外科

肝臓、胆管、胆のう、すい臓、脾臓、門脈等の難治性がんなど

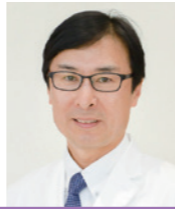


他の診療科との連携を高め最速で治療に取り組む

肝胆膵領域の診療には高い専門性が要求されます。特に私共が専門とする臓器(肝臓、胆管、胆のう、すい臓、脾臓、門脈)は解剖学的に複雑で、手術治療には高度な技術が要求されます。当科にはその高度な治療の実践経験豊富なエキスパートがそろっており、ロボット支援下手術・腹腔鏡下手術をはじめ、MRI、CTなどの診断機器や、ラジオ波、放射線照射装置など最新の治療機器も完備されています。一般病院では手に負えないような高度進行がん、難治性がんに対しても積極的な治療に取り組んでいます。当科を初診されてから、なるべく早いスケジュールで検査診断を行い、最速で治療を開始できるように様々な診療科との連携も高めておりますので、安心して患者さんをご紹介します。

科長/教授 田邊 稔 Minoru Tanabe

医学博士、日本外科学会 専門医、指導医、代議員、日本消化器外科学会 専門医、指導医、消化器がん外科治療認定医、理事、評議員、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本癌治療学会 代議員、IJCO Editorial Board、日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医、理事、評議員、日本臨床外科学会 評議員、日本内視鏡外科学会 評議員、理事、日本移植学会 認定医、代議員、日本腹部救急医学会 評議員、日本Acute Care Surgery学会 評議員、日本肝移植学会 幹事、日本肝癌研究会 幹事、取扱い規約委員、単孔式内視鏡外科研究会 世話人、運営委員、肝臓内視鏡外科研究会 理事



早期腫瘍性病変の発見に有用なLCIを用いた

上部消化管内視鏡検査のご案内

光学医療診療部副部長で消化管外科講師の川田研郎医師らが取り組んだ胃がん、食道がん、咽頭がんを早期発見するための内視鏡検査についての研究成果が、国際科学誌 Annals of Internal Medicine に、2020年10月19日午後5時(米国東部夏時間)のオンライン版で発表されました。この研究成果によると、新規画像強調機能Linked Color Imaging(LCI)を用いたスクリーニング検査は、従来法に比べて1.67倍多くの

早期腫瘍性病変を拾い上げることが確認され、LCIの活用により上部消化管がん患者さんの予後向上に寄与することが期待できるそうです。

なお本院の光学医療診療部では、LCIを用いた内視鏡検査を積極的に行っており、優れた診断技術を持つ医師が対応しておりますので、ぜひ患者さんをご紹介します。



入院支援室は2020年10月より

入院支援室がリニューアルオープン

入院支援室では、予定入院の患者さんやそのご家族が、安心して療養生活へ導入できるよう入院前から支援を開始します。

患者さんの入院前の生活状況や病歴を把握するために情報収集し、入院生活や治療に関するオリエンテーションを行います。また、治療後には早期に地域での生活に戻れるよう入院前から社会資源の情報提供や地域との連絡調整を行います。

収集した情報をもとに入院前から退院調整看護師・MSW・病棟と情報共有し、患者さんの受け入れと退院支援がスムーズになるように連携しています。

まだまだこれから改善することも多くありますが、患者さんがより良い医療とケアが受けられるように一層の努力をまいります。

入院支援室

TEL: 03-5803-5278 (平日8:30~17:15)
FAX: 03-5803-0254



シリーズ

認定看護師の紹介

第2回 集中ケア認定看護師

当院で活躍する認定看護師を紹介します

集中ケア認定看護師は、急性や重篤な疾患により生命の危機状態にあり、集中管理が必要な患者さんに対して、重篤化を回避する援助ができる熟練した看護技術を有します。当院には4名の集中ケア認定看護師がおり、ICUなどで活躍しています。また新型コロナウイルス感染症患者さんの看護に対しても積極的に取り組んでおります。



(写真左から)

本庄 智代 岡 晃司